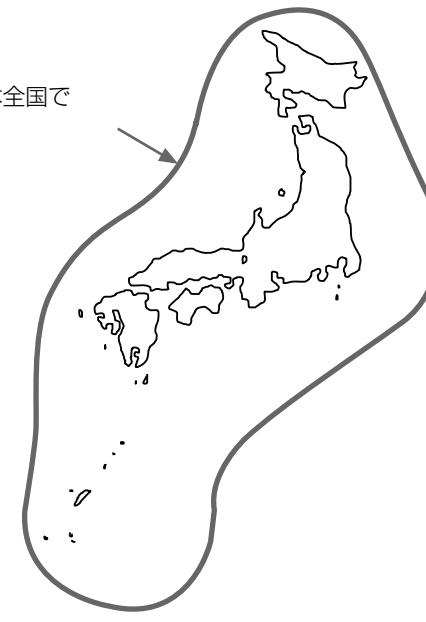


小笠原諸島を除く日本全国で受信できます。



110度CSデジタル放送受信についてのご注意

九州北部および山口県では、アンテナの方向調整が不十分などに、韓国が利用している衛星から干渉を受けることがあります。BS放送は受信できるのに、110度CSデジタル放送が受信できないときは、アンテナをわずかだけ（アンテナの端が約5~10mm動く位）西に向けると110度CSデジタル放送も受信できるようになります。

使用上のご注意

アンテナ使用上のご注意

- アンテナの反射鏡を固いものでこすったり、傷つけたりしないでください。
- アンテナの反射鏡の汚れは、水またはうすい中性洗剤溶液を含ませた柔らかい布で、軽くふいてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。
- サテライト用同軸ケーブルは、高い周波数の信号を伝送するため、必ず、衛星放送受信用に造られたケーブルをご使用ください。

主な仕様

アンテナ形式	オフセット型パラボラアンテナ
受信周波数範囲	11.7 ~ 12.75GHz
受信偏波	右旋円偏波
性能指数 (G/T)	15.1dB (標準)
アンテナ利得	34.8dB (標準)
開口効率	76%
ビーム半価角	3.4°
反射鏡短径	500mm
コンバーター雑音指数	0.6dB (標準)
コンバーター利得	54±5dB
位相雑音	-60dB以下 (1kHz)
局発周波数	10.678GHz
出力周波数	1022~2072MHz
出力構造	F型75Ωコネクター
出力VSWR	2.0以下
使用温度範囲	-30~+50°C
耐風速	50m/s
電源電圧	DC15V (出力端子から供給)
消費電力	1.5W
外形寸法	535×650×495mm (幅/高さ/奥行)
質量	約2.2kg
付属品	F型コネクター (5Cケーブル用) (1) 防水キャップ (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1) サービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
ご了承ください。

雨や雪の影響について

- BS放送は、雪がアンテナに付着したり、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったりすると、電波が弱くなります。デジタル放送の場合、多少の雨では画面状況に影響はありませんが、強い雨のときは突然画面が映らなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。
- 雪が付着して画面の映りが悪くなったときは、アンテナの反射鏡を傷つけないように注意しながら、雪を取り除いてください。
- 台風などの強風のあとは、アンテナや取り付け金具にゆるみや異常がないかを確認してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
まずはチェックを

次の点に注意して、もう一度お調べください。

- サテライト用同軸ケーブルは、正しく接続されていますか？
- BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）のコンバーター用電源は正しく設定されていますか？
- アンテナは正しく組み立てられていますか？
- BSの方向に障害物はありませんか？
- アンテナは正しくBSの方向を向いていますか？

それでも具合の悪い
ときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
型名: BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-50B1
故障の状態: できるだけくわしく
お買い上げ年月日:

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.



JEITAデジタルハイビジョン受信マークは、(社)電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- お使いのBSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書を、あわせてご覧ください。
- 本機は、BSアナログ放送（従来のBS放送）とBSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できます。
- BSアナログ放送を受信できれば、アンテナの向きを変えることなく、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送も受信できます。

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan



警告



火災



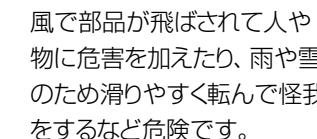
感電

下記の注意を守らないと感電・落下により
死亡や大けがの原因となります。

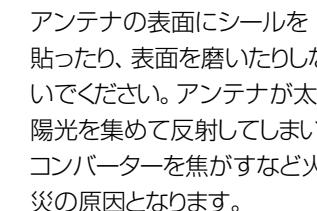
危険な場所での取り付け
及び危険をともなう作業は
かならず専門業者に依頼
する



天候の悪い日は取り付
け作業は行わない

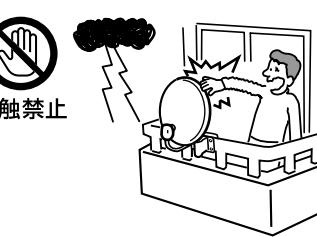


アンテナの表面を加工
しない

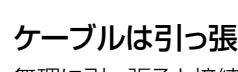


組み立て時、ネジ、ボルト類は確実にしめる
ゆるいと、すれたり倒れたりして怪我の原因となります。

雷が鳴り出したら本機
には触れない

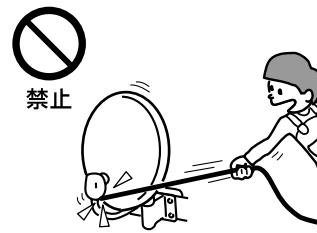


下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害
を与えることがあります。



注意

ケーブルは引張らない



組立時、本機の取り扱いには注意する

本機は金属など固いものでできています。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。怪我をしたり、本機が破損したりすることがあります。また、金属部分は角を取るなどして、指先などに怪我をしないよう配慮した加工がされていますが、手荒に扱うと思わぬ怪我の原因となることがありますので、ご注意ください。

設置後本機には無理な
力を加えない



ベランダ取り付け時は、ベランダの耐久力について工
事施工者に相談する

強度不足の場合、ベランダが壊れたり、本体が倒れたりして怪我の原因となることがあります。

本機を改造しない

故障や事故の原因となることがあります。

取り付け作業に入る前に

ご注意

この取扱説明書をよく読んでから、作業を始めてください。お使いのBSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書を、合わせてご覧ください。

安全のために、次のことを必ずお守りください！

- アンテナを取り付けるときは、チューナーの電源コードを壁のコンセントから抜いてください。アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。チューナー本体の電源が入っていないなくても、壁のコンセントにつながっているだけで、ショートします。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは、回さないでください。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合や自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。
- ベランダに取り付ける場合のご注意
 - 2階以上のマンションやアパートなどベランダの外側に出る部分に取り付けるときは網などを付けて、部品や工具の落下を防ぎ、充分に注意して取り扱ってください。
 - ベランダの耐久力については、工事施工者にご相談ください。ベランダがアルミ製の場合、強度などによって取り付けられないことがあります。また、鉄製その他の場合は、腐食していないことを確認してください。取り付けにあたっては、安全性や信頼性を充分考慮してください。

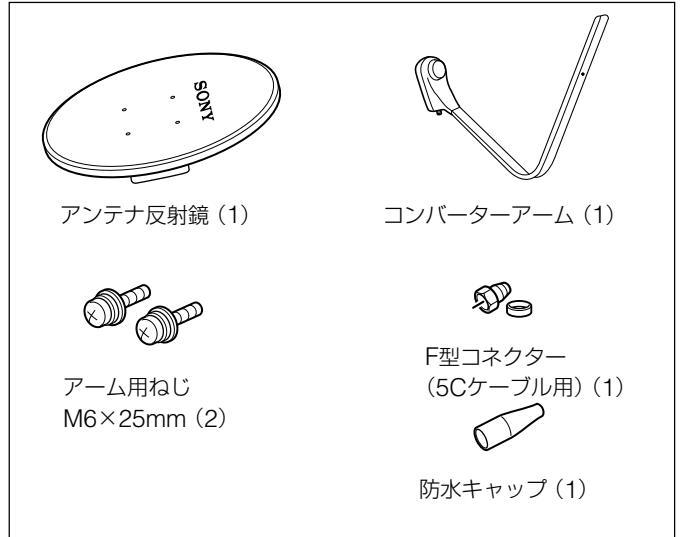
作業手順

- 設置場所を選ぶ。
裏面の「アンテナの設置場所」をお読みください。
- アンテナを取り付ける。
- BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビなどにつなぐ。
- アンテナの方向・角度を調整する。
- アンテナを固定する。

裏面につづく

組み立てに必要な部品

組み立てる前に以下の部品がそろっているかお確かめください。()内の数字は個数です。



その他設置に必要な別売り品

サテライト用同軸ケーブル
市販のサテライト用同軸ケーブル(S-5C-FBなど)をお使いください。

ご注意

高い周波数の信号を伝送するため、必ずサテライト用同軸ケーブルを使ってください。それ以外のケーブルをつなぐと故障の原因となります。

アンテナポール1本

適合ポール径φ38.0mm~42.7mm
長いポールをお使いになる場合は、できるだけ径が大きく、丈夫なポールを選んでください。

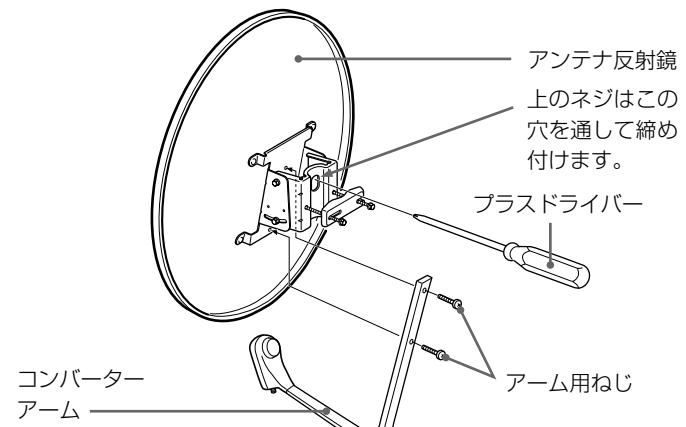
テープ

市販のものをお使いください。

アンテナを組み立てる

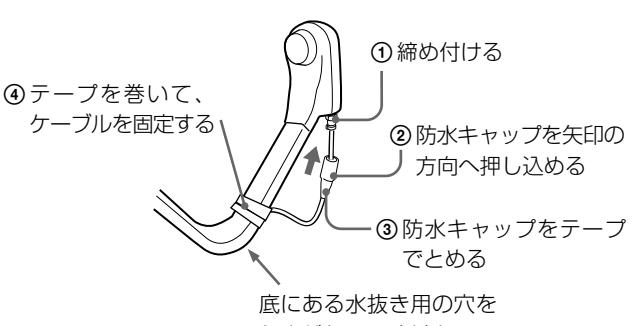
ショート防止のため、BSチューナー(またはBSチューナー内蔵テレビなど)やブースターなどの電源コードは、壁のコンセントから抜いてください。
アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。テレビやチューナーの電源が入っていないくとも、それらの電源コードが壁のコンセントつながっているだけで、ショートします。

1 アンテナ本体にコンバーターアームを取り付ける。



3 サテライト用同軸ケーブル(別売り)を接続する。

- 1 ケーブルにF型コネクターを取り付ける。(下の「F型コネクターの取り付け方法」をご覧ください。)
- 2 F型コネクターをコンバーターに接続する。



防水キャップがずれないと、雨水が入って受信不良になります。

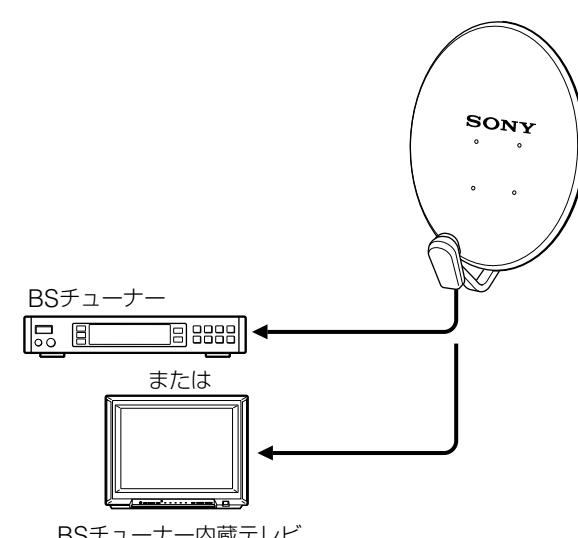
ご注意

同軸ケーブルをベランダの角など尖ったところにテープで固定しないでください。
同軸ケーブルの内部で断線することがあります。

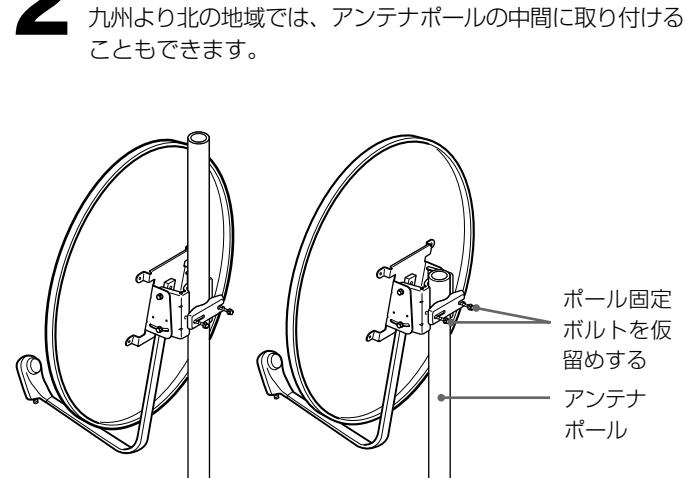
4 BSチューナーなどに接続する。

接続のしかたは、BSチューナー(またはBSチューナー内蔵テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。

接続が終わるまで、安全のためBSチューナーなどの電源コードは壁のコンセントから抜いておいてください。

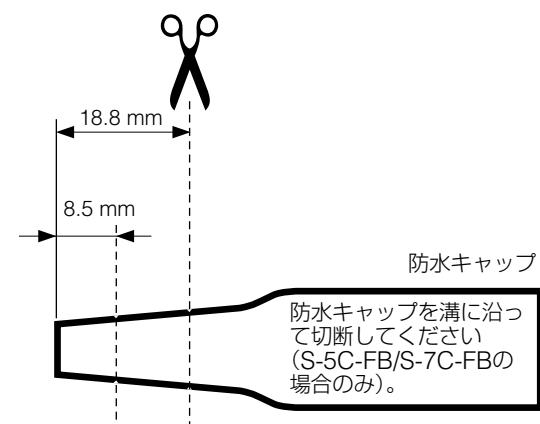


2 アンテナポールに取り付ける。

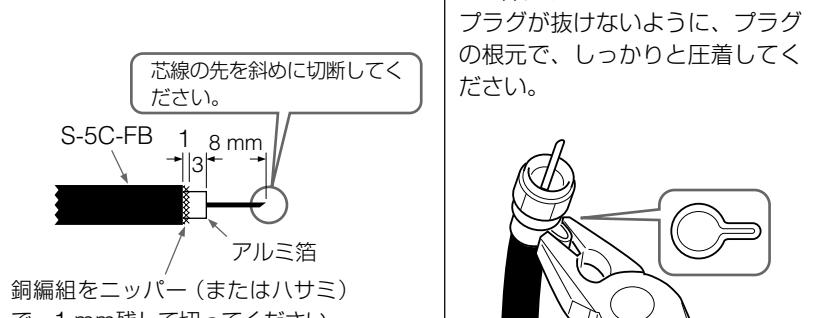


F型コネクターの取り付け方法

1 同軸ケーブルがS-5C-FBまたはS-7C-FBの場合
は、付属の防水キャップを溝に沿って切断する
(S-4C-FBの場合には切断しないでください)。

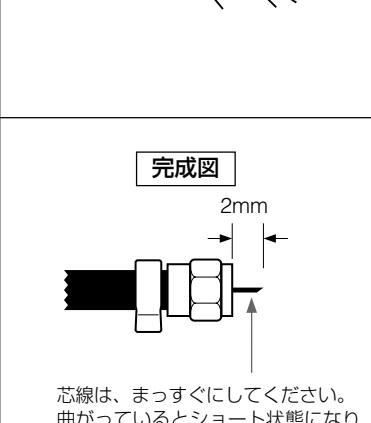
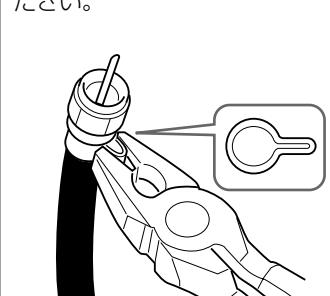


3 ケーブルを加工する。



5 カシメ用リングをベンチで圧着する。

プラグが抜けないように、プラグの根元で、しっかりと圧着してください。



2 ケーブルを防水キャップに通す。



4 F型コネクターを取り付ける。

付属のF型コネクターは5C用です。

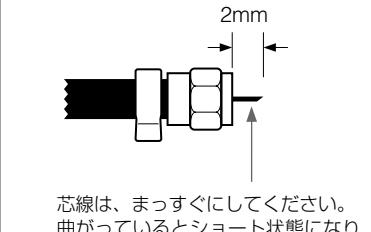
① カシメ用リングをケーブルに通す。

② あみ線(銅編組)を折り返す。

③ プラグを強く押し込む。

カシメ用リング(フェルール)

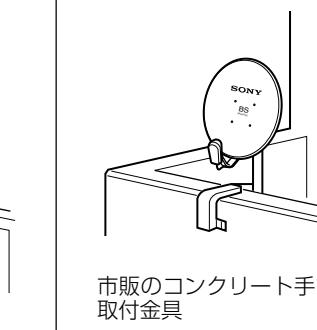
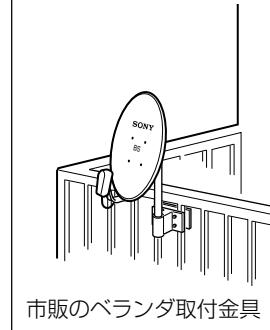
完成図



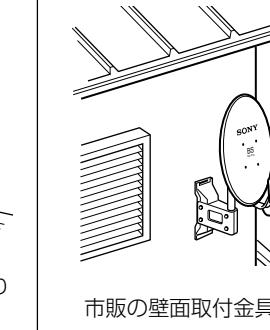
アンテナの設置場所

アンテナの設置場所には、電波が来る方向(「地域別仰角／方位角表」に示された仰角・方位角の方向)に建築物や樹木がなく、人の通行の妨げにならない場所をお選びください。アンテナ設置後も、電波の来る方向に障害物を置かないようにご注意ください。

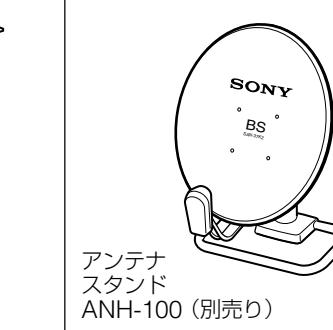
ベランダ設置例



壁面設置例



室内設置例

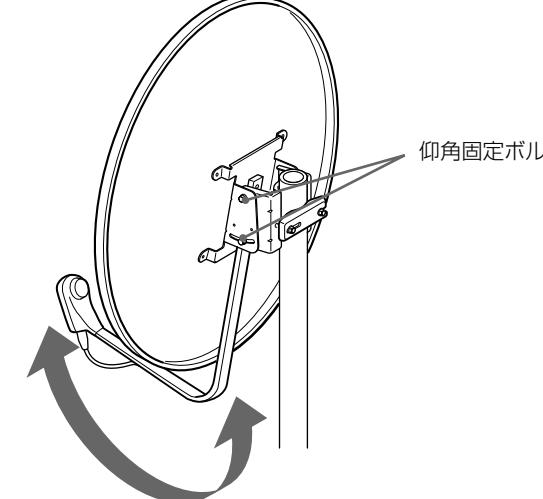


仰角・方位角を調整する

1 BSチューナーなどの電源を入れる。

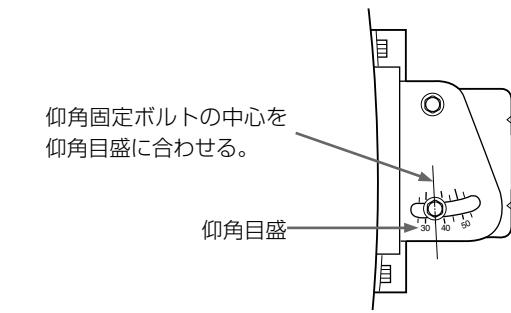
コンバータ電源の設定の方法は、BSチューナー(または、BSチューナー内蔵テレビなど)の取扱説明書をごらん下さい。

2 仰角固定ボルトをゆるめる。

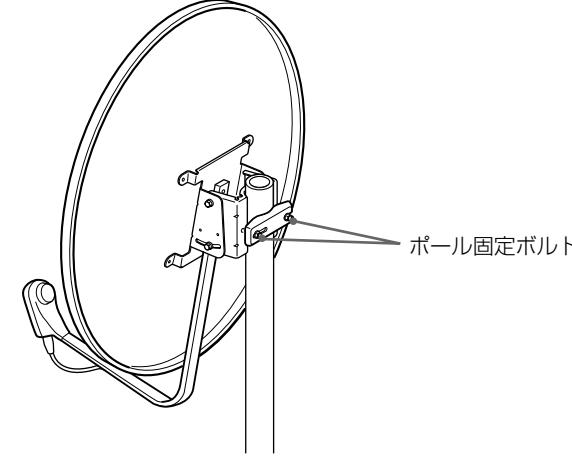


3 仰角をだしたいの位置に合わせる。

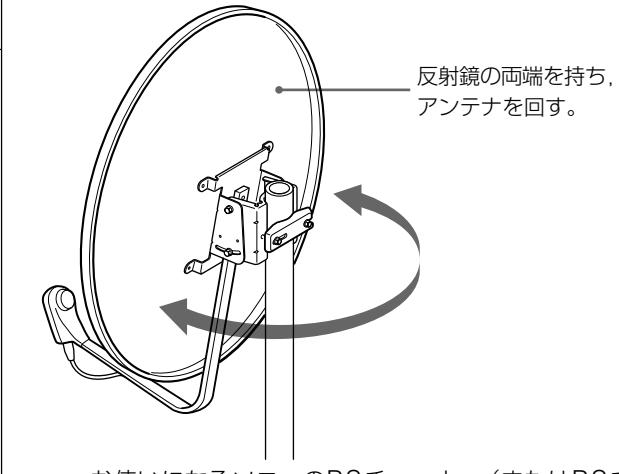
下の「日本の各地域での仰角と方位角」を参照して自分の地域の仰角に合わせておきます。



4 ポール固定ボルトをゆるめる。

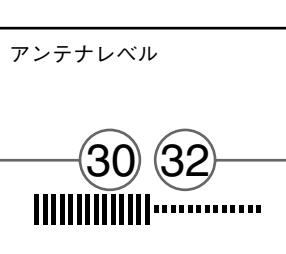


5 アンテナを南西方向に向け、テレビ画面のアンテナレベルが最大になるまで左右に動かす。



お使いになるソニーのBSチューナー(またはBSチューナー内蔵テレビなど)によっては、テレビ画面にアンテナレベルが表示されますので、調整が簡単に行えます。アンテナレベル表示のないBSチューナーをお使いの場合は、お買い上げ店にご相談ください。

受信設定画面例

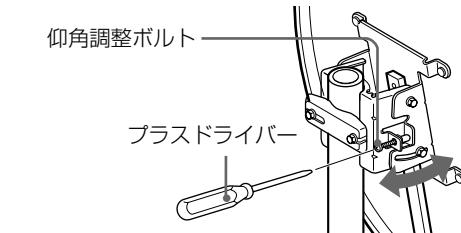


今まで入ってきた電波の中で最大のアンテナレベル。右の値に近づくようにアンテナを調整する。

6 仰角(上下角度)・方位角(左右角度)を微調整する。

アンテナレベルが最大になるように慎重に調整してください。

- 仰角は、仰角調整ボルトを回しながら微調整する。
- 方位角は、5をくり返して微調整する。



7 仰角固定ボルトとポール固定ボルトをしっかりと締める。

テレビ画面のアンテナレベルが変わらないことを確認しながら締めます。変わったら、3~6の方法で締め直します。アンテナの角度・方向が動かないようにボルトは確実に締めてください。

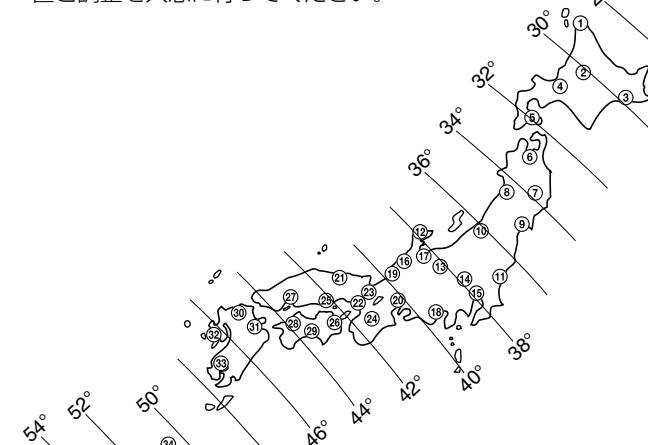
ご注意

- 強風によってアンテナが動いて受信レベルが下がり、受信状態が悪くなることがあります。このときは、天候が回復した後、再びアンテナの向きを調整してください。
- 九州北部および山口県では、アンテナの方向調整が不十分なときに、韓国が利用している衛星から干渉を受けることがあります。BS放送は受信できるのに、110度CSデジタル放送が受信できないときは、アンテナをわずかだけ(アンテナの端が約5~10mm動く)西に向けると110度CSデジタル放送も受信できるようになります。

日本の各地域での仰角と方位角

アンテナは鋭い指向性をもっているので、衛星の方向へ正しく向けておかないと、受信装置の性能を充分に発揮できません。

あなたの地域での仰角と方位角をお確かめのうえ、アンテナの設置と調整を入念に行ってください。

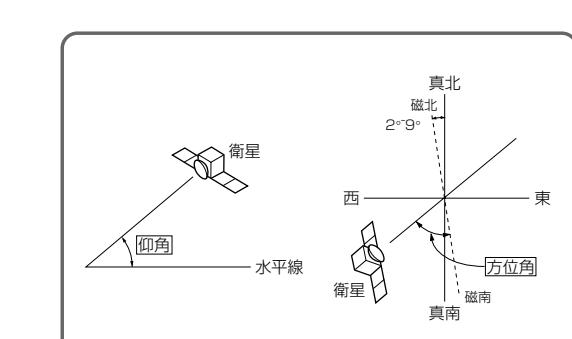


仰角・方位角とは

仰角は水平に対して電波が来る角度です。オフセット型アンテナの反射鏡の角度とは異なります。

磁針が示す磁北・磁南は、真北・真南とは異なります。

地域別仰角／方位角表の方位角は、磁石を使うときのために、磁南からの角度を示しています。



地域別仰角／方位角表

地域	仰角	方位角	地域	仰角	方位角	地域	仰角	方位角
①稚内	29°	50°	⑬長野	38°	49°	⑭岡山	42°	44°
②旭川	30°	51°	⑮前橋	//	50°	⑮徳島	//	45°
③釧路	30°	53°	⑯東京	//	51°	⑯広島	43°	42°
④札幌	31°	50°	⑰金沢	39°	47°	⑰松山	44°	43°
⑤函館	32°	50°	⑱富山	//	48°	⑱高知	//	44°
⑥青森	33°	50°	⑲静岡	//	50°	⑲福岡	45°	40°
⑦盛岡	34°	51°	⑳福井	40°	46°	⑳大分	//	41°
⑧秋田	35°	50°	㉑鳥取	41°	44°	㉑長崎	46°	39°
⑨仙台	//	51°	㉒鳥取	41°	44°	㉒鹿児島	47°	41°
⑩新潟	36°	49°	㉓鹿児島	47°	41°	㉓名瀬	51°	39°
⑪水戸	37°	51°	㉔那覇	54°	39°	㉔那覇	54°	38°
⑫輪島	38°	47°						